

経尿道的膀胱腫瘍切除を受ける方の入院診療計画書（2）

退院基準：血尿レベルが2未満である。自己排尿できる。37℃以上の発熱がない。

様

主治医

担当看護師

| | 外来 | 入院当日(/) | 手術当日(前)(/) | 手術当日(後)(/) | 術後1日目(/) | 術後2日目(/) | 術後2日目～7日目 | ～退院 |
|------------------|--|---|---|--|--|---|--|-----|
| 検査・治療・処置 | <ul style="list-style-type: none"> ●胸部、腹部レントゲン撮影 ●心電図検査 ●血液検査 | ●身長、体重を測定します。 | | <ul style="list-style-type: none"> ●尿道に管が入っています。 ●膀胱の中を水で持続的に洗浄しています。 | <ul style="list-style-type: none"> ●採血があります。 ●洗浄を中止します。 ●体温・脈拍・血圧を1日3回測ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●尿道の管を抜きます。 ●尿が出にくいときは、管で尿をとります。 | |
| 薬剤 | ●普段内服している薬がありましたらお知らせ下さい。 | ●下剤2錠を21時に内服してください。 | <ul style="list-style-type: none"> □午前手術の場合は点滴はありません。 □午後手術の場合は午前10時頃より点滴があります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●抗生薬の点滴を行いません。 ●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 | | | | |
| 安静度 リハビリテーション | ●普段通りの生活ができます。 | ●病棟内歩行できます。 | ●歩いて手術室に入室します。 | ●ベッド上安静になります。 | ●歩行の許可が出来ます。 (最初は看護師が付き添い、リハビリ歩行します。) | ●病棟内歩行できます。 | | |
| 排泄 | ●制限はありません。 | ●制限はありません。 | ●朝7時頃に洗腸をします。 便を見せていただきます。 |  | | | | |
| 清潔 | ●入浴できます。 | ●入浴してください。 | | ●体を拭き、パジャマに着替えます。 | ●体を拭きます。 (拭けるところは自分で拭いて下さい) | ●尿道の管が抜ければ入浴できます。 | | |
| 食事・栄養管理 | ●普通食でかまいません。 | ●食事は、夕食まで食べられます。 水分は午前0時からは飲まないでください。 | ●水や食事を摂ることはできません。  | ●帰宅後、3時間後より水分をとることができます。 ●夕から食事ができます。  | | | | |
| 説明・指導・教育 | <p><手術に必要な物品></p> <ul style="list-style-type: none"> *バスタオル1枚 *オムツ1枚 *コップと曲がるストロー *入れ歯入れ(必要時) <p>※ひとつずつに名前を書いてください</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ●病棟の案内をします。 ●手術前後の経過について説明します。 (主治医、看護師) ●手術室看護師の訪問があります。 ●眠れない時は、看護師にお知らせ下さい。 | <ul style="list-style-type: none"> ●手術室に行く前に排尿を済ませて下さい。 ●手術着に着替えて下さい。 <p>※手術室に入室する時間(時 分の予定)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●尿道に管が入っていますので引っぱらないようにして下さい。 <p>※ご家族の方へ主治医から手術結果の説明があります。 (看護師が案内します)</p> | ●薬剤師より薬の説明があります。  | <ul style="list-style-type: none"> ●尿道の管が抜けた後、しばらくは血尿、排尿時痛などがあります。水分を十分とりましょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ●退院指導書をお渡しします。 ●退院後の生活についての説明があります。 (医師・看護師) ●退院処方をお渡しします ●手術後の経過と手術時に提出した検査の結果をお話します。(医師) (後日外来での説明になることもあります。) | |

上記内容について説明を受けました。

ご氏名

(署名)

平成 年 月 日

京都桂病院 泌尿器科 2007.11.26 Ver6